

紹介受診重点医療機関の選定意向について

(令和9年2月末までに再編や二次医療圏を越える移転の予定がある医療機関)

大阪府知事様

<提出日> 令和 2026年 1月 23日

<医療機関>

名称 医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院

所在地 大阪府八尾市若草町1番17号

<申請者>

法人又は個人の名称 医療法人徳洲会

代表者 東上 震一

住所または所在地 大阪府大阪市北区梅田1丁目3番1-1200号

当院は令和 8年 3月に再編等（再編や二次医療圏を越える移転）を行う予定です。

再編等後の当院における紹介受診重点医療機関となる意向の有無については、「意向あり」とします。つきましては、別紙の理由書を提出します。

【留意事項】本理由書の記載内容は、紹介受診重点医療機関の選定にかかる協議に使用しますが、理由書の提出により、自動的に再編等後も「紹介受診重点医療機関」として選定される訳ではありません。また、大阪府保健医療協議会の協議の結果、再編等前の医療機関が「紹介受診重点医療機関」として選定されなかった場合、再編等後の医療機関に係る事前の協議は行いませんので、ご承知おきください。

理由書

(令和9年2月末までに再編や二次医療圏を越える移転の予定がある医療機関)

<医療機関名称>

医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院

再編や移転後の医療機関について、紹介受診重点医療機関への意向がある理由は下記のとおりです。

※以下を参考に、理由の記載をお願いします。

- ・再編・移転前後の紹介受診重点外来の実施状況（見込み）
- ・地域の外来機能の明確化・連携の推進のための取組（例：再編・移転後の外来における人材の配置
予定数や高額等の医療機器・設備の保有予定、地域における外来医療の連携体制の構築状況など）

救急対応や新型コロナ・新興感染症対応の強化のため、全南病院と再編し、2024(令和6)年1月に全南病院60床のうち回復期(地域一般入院料3)の12床を移管、2025(令和7)年6月に10床を高度急性期(ハイケアユニット入院医療管理料1)として移管、2025(令和7)年11月に18床を一般病棟(急性期一般入院料1)として移管し済み、2026年3月に急性期一般入院料1に8床移管(高度急性期2床増、急性期6床増)、12床を高度急性期(特定集中治療室管理料1)として移管し、高度急性期+12床、急性期+26床として統合予定。ICUは現在8床で救急・外科系・内科系・循環器集中としての性格を持って運用を行っている。また、当院の心臓血管センターとの密接な協力の下、多数の循環器疾患患者を受け入れておりCCUとしての性格も色濃く担っている。医療機器に関しましては手術支援ロボット「ダヴィンチ」「サロア」を導入しており、泌尿器科や呼吸器外科、消化器外科の領域で患者様に精度の高い低侵襲手術を提供している。また、放射線治療装置「リニアック」も最新に更新し、都道府県がん診療拠点病院としてがん治療を積極的に推進していく。救急医療についても月1100件以上の救急搬送受け入れを達成し、地域医療支援病院として、より地域医療に尽力しています。

地域における外来医療の連携体制の構築状況

専門外来や施設専用外来を設置し、より多くの紹介患者を受け入れる体制を整える。

逆紹介について、紹介患者は原則紹介元に戻す。尚、現在も病病連携、病診連携、医療介護連携を推進しておりますが、さらに強化していく。